



2025年1月31日

各 位

会社名 株式会社ハチバン
代表者名 代表取締役社長 長丸 昌功
(コード番号：9950 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 管理部長 木村 英司
(TEL 076-292-0888)

株式報酬制度の継続に伴う第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式報酬として自己株式の処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 処分の概要

(1) 処 分 期 日	2025年2月18日
(2) 処分する株式の種類 及 び 数	当社普通株式 45,800 株 (うち役員向け株式報酬制度に対し 13,100 株、 従業員向け株式報酬制度に対し 32,700 株)
(3) 処 分 価 額	1株につき 3,450 円
(4) 処 分 総 額	158,010,000 円
(5) 処 分 予 定 先	三井住友信託銀行株式会社（信託口） (再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口）)
(6) そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法による届出の効力発生を 条件といたします。

2. 処分の目的及び理由

当社は、2018年4月27日付取締役会において、当社取締役（社外取締役を除きます。以下も同様です。）及び執行役員（委任型）（以下総称して「取締役等」といいます。）を対象とする株式報酬制度（以下「役員向け株式報酬制度」といい、役員向け株式報酬制度導入のために設定された信託を「役員向け株式交付信託」といいます。）の導入を決議し、また2020年1月30日付取締役会において、当社従業員（以下「従業員」といいます。）を対象とする株式報酬制度（以下「従業員向け株式報酬制度」といい、「役員向け株式報酬制度」と合わせて「本制度」と総称し、従業員向け株式報酬制度のために設定された信託を「従業員向け株式交付信託」といい、「役員向け株式交付信託」と合わせて「本信託」と総称します。）の導入を決議し、当社取締役に対する導入については2018年6月14日開催の第48期定時株主総会において承認決議されており、現在に至るまで本制度を継続しております。

本制度の概要につきましては、2018年4月27日付「当社取締役に対する株式報酬制度の導入に関するお知らせ」及び2020年1月30日付「信託を用いた従業員向けインセンティブ・プランの導入に関する

るお知らせ」をご参照ください。

本自己株式処分は、本信託の受託者である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口））に対して行うものであります。

処分数量につきましては、本制度導入に際し当社が制定済みである株式交付規程に基づき、役員向け株式報酬制度については、信託期間中の取締役等の役位、構成推移等を勘案のうえ、また、従業員向け株式報酬制度については、信託期間中の従業員の役職、構成推移等を勘案のうえ、取締役等及び従業員に交付すると見込まれる株式数に相当するものであり、その希薄化の規模は、2024年9月20日現在の発行済株式総数3,068,111株に対し、1.49%（2024年9月20日現在の総議決権個数29,612個に対する割合1.55%。いずれも、小数点以下第3位を四捨五入）となります。

当社としましては、本制度は取締役等及び従業員の報酬と当社株式価値の連動性を明確にし、中長期的には当社の企業価値向上に繋がるものと考えており、本自己株式処分による処分数量及び希薄化の規模は合理的であり、流通市場への影響は軽微であると判断しております。

（ご参考）本信託に係る信託契約の概要		
	役員向け株式交付信託	従業員向け株式交付信託
委託者	当社	
受託者	三井住友信託銀行株式会社 （再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行）	
受益者	取締役等のうち受益者要件を満たす者	従業員のうち受益者要件を満たす者
信託管理人	当社及び当社役員から独立した第三者	
議決権行使	受託者は、信託の期間を通じて、本信託内の当社株式に係る議決権は行使いたしません	受託者は、信託管理人からの指図に基づき、信託期間を通じ議決権を行使いたします
信託の種類	金銭信託以外の金銭の信託（他益信託）	
信託契約日	2018年8月16日	2020年2月14日
信託の期間	2018年8月16日～2027年8月末日 （予定）	2020年2月14日～2030年2月末日 （予定）
信託の目的	株式交付規程に基づき当社株式を受益者へ交付すること	

3. 処分価額の算定根拠及びその具体的内容

処分価額につきましては、最近の株価推移に鑑み、恣意性を排除した価額とするため、2025年1月30日（取締役会決議日の直前営業日）の東京証券取引所における終値である3,450円といたしました。取締役会決議日の直前営業日の終値としたのは、取締役会決議日の直前の市場価値であり、算定根拠として客観性が高く合理的なものであると判断したためです。

当該価額については、取締役会決議日の直前営業日の直近1ヵ月間（2025年1月6日～2025年1月30日）の終値平均3,435円（円未満切捨て）からの乖離率が0.44%、直近3ヵ月間（2024年10月31日～2025年1月30日）の終値平均3,446円（円未満切捨て）からの乖離率が0.12%、あるいは直近6ヵ月間（2024年7月31日～2025年1月30日）の終値平均3,473円（円未満切捨て）からの乖離率が△0.66%となっております（乖離率はいずれも小数点以下第3位を四捨五入）。

上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、処分予定先に特に有利なものとはいえ

ず、合理的と考えております。

また、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役全員（4名、うち4名は社外監査役）が、処分価額の算定根拠は合理的なものであり、処分予定先に特に有利な処分価額には該当せず適法である旨の意見を表明しております。

4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

以 上